

電波時計 取扱説明書

（電子音目覚まし時計）

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造元 **リズム株式会社**

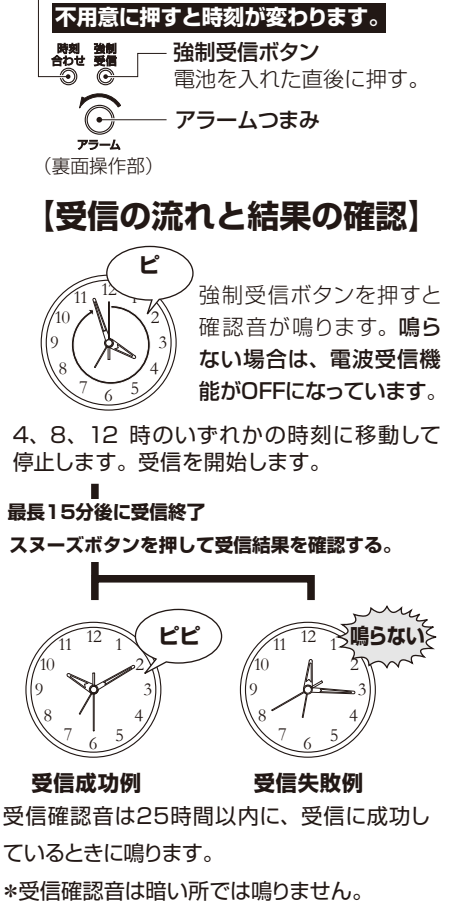
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

ご使用の際は、巻末の「**使用上のご注意**」を必ずお読みください

1 電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



電池を入れる手順

- 電池ふたを開ける。
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合せて入れる。
- 電池ふたを閉じる。

⊕⊖を逆方向に入れると、液もれ、発熱、破裂の原因になります。

時刻合わせボタン

手動で時刻を合わせるときに使用。

※意図せず時刻が変わります。

強制受信ボタン 電池を入れた直後に押す。

アラームつまみ

（裏面操作部）

【受信の流れと結果の確認】

強制受信ボタンを押すと確認音が鳴ります。鳴らない場合は、電波受信機能がOFFになっています。

4、8、12 時のいずれかの時刻に移動して停止します。受信を確認します。

最長 15 分後に受信終了

スヌーズボタンを押して受信結果を確認する。

受信成功例 受信失敗例

受信確認音は25時間以内に、受信に成功しているときに鳴ります。

*受信確認音は暗い所では鳴りません。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**（手動で時刻合わせ）**をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

● 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる

● 強制受信ボタンを押す

確認音が鳴り、針は4、8、12時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止します。

電池を入れた後は、誤作動防止のため必ず強制受信ボタンを押してください。

● 受信が終わるまで待つ

2～15分後に受信が終了し、時計針分針秒針が早送りして時刻を示します。

受信中は、操作ボタンを押さないでください。

● スヌーズボタンを押して受信結果を確認する

………【受信の流れと結果の確認】参照

受信に成功した場合、受信確認音が鳴ります。失敗した場合は鳴りません。

受信に失敗した場合は、

（電波を受信できない場合）を参照。

○受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

○受信が成功しているのに、時刻が正しくないときは、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して、再度受信させてください。

● 確認音は、電池を入れたとき、強制受信ボタンを押したとき、アラームスイッチをONにしたときに、電子音で「ビビ」と鳴ります。

● 受信確認音は、標準電波の受信に成功しているときに、**明るい所**でスヌーズボタンを押す電子音で「ビビ」と鳴ります。

受信に失敗している場合や電波受信機能がOFFのときには、鳴りません。

電波を受信できない場合

● 朝までそのまましておく

一般に夜間は電波状態が悪くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

● 場所を変える

電波の受信しやすい窓ぎわなどで、取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所になるべく時計の正面または裏面が向くように置き、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

● 時刻を合わせて使用する

屋外、たとえばベランダなどで標準電波を受信させるか、手動で時刻を合わせてください。通常のクォーツ時計としてご使用になります。

手動での時刻合わせ……電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

● 標準電波を受信できない場合の時間精度はクォーツ精度になります。

● 受信機能がONのときは、手動で時刻を合わせると、電波の受信に成功すると時刻を修正します。

手順

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りします。このとき秒針は止まります。

③アラーム操作をしていないのに、針が早送りしているときは、通常の動きになってから操作してください。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離れた時点でゼロ秒から秒を刻み始めます。秒針が12時位置に止まっていないときは、秒針は早送りして現在時刻に移動します。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）

強制受信ボタンを連続して4回押してください。

強制受信ボタンを押すタイミングは、**確認音が鳴り始めたときに押してください**。

受信機能がOFFになると、強制受信ボタンを押しても確認音が鳴りません。

▶時刻は手動で合わせてください。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

時刻合わせボタンを押しながら、強制受信ボタンを押してすぐ離し、その後に時刻合わせボタンを離します。確認音が鳴り、照明が点滅します。この後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。

○工場出荷時の設定は、受信機能はONになっています。

○この説明の中で「押す」は「押してすぐ離す」ことを意味しています。

○操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

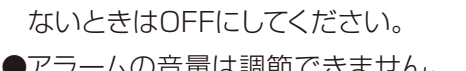
○受信機能がOFFのときに、電池を取り出しても設定を長い時間保持します。受信機能をONにするには、左記の説明に従って操作してください。

○受信機能がOFFのときに、強制受信ボタンを押すと早送りでおおよそ12時間分動き、その後、通常の時刻表示になります。

2 アラーム機能

■ アラーム時刻の設定

アラームつまみを、必ず矢印の方向に回して、アラームの針をアラームを鳴らす時刻に合わせます。



アラームつまみ

必ず矢印方向に回す

アラーム時刻の目盛

操作例 6時20分にセット

アラームの針を7時に合わせ、6時方向に4回「カチ」とさせてください。

○アラーム時刻は10分単位で設定できます。

○10分単位に「カチ」とクリック感があります。

※アラームつまみを逆に回すと、アラーム精度が悪くなる場合があります。

■ アラームスイッチの設定



スヌーズ/ライトボタン兼用

アラームスイッチ

ON

OFF

ON 設定時刻にアラームが鳴る。

ONにすると「ビビ」と鳴ります。

OFF 鳴らさない、鳴っているアラームを止める。

◎スヌーズ機能…止めてもまた鳴る

アラームが鳴っているときにスヌーズボタンを押すと、約5分間アラーム音を停止して、また鳴り出します。

この機能は、アラーム時刻から20～50分間繰り返して使えます。

◎オートストップ機能…自動鳴り止め

鳴っているアラームを放置すると、約5分間鳴り続けて止まります。

アラームスイッチはONのままです。

アラームご使用上の注意

●アラームスイッチがONのときは、午前と午後の2回アラームが鳴りますので、使用しないときはOFFにしてください。

●アラームの音量は調節できません。

3 明暗センサーと照明機能 …… 暗くなると自動点灯

●明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置に停止させて、照明ランプが自動点灯します。明るくなると秒針は現在時刻位置に移動し、照明ランプは消灯します。

標準電波を受信しているときは受信感度を上げるため消灯します。

昼間や照明機器により照明されているときでも、明るさが不足すると明暗センサーが反応します。

●スヌーズボタンを押している間とボタンを離してから約4秒間、自動点灯よりも明るく照明します。

※照明機能を使わないときには、照明用の電池を取り外してください。

トラブル?

時刻合わせボタンで時刻をアラーム時刻に合わせてもアラームが鳴らない

アラームスイッチをOFFにしてからONにするとアラームが鳴り出します。

強制受信ボタンを押しても確認音が鳴らない

電波受信機能をOFFになっています。→ **（電波受信機能のON/OFF操作）** 参照

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換が必要になると秒針が常時12時位置に停止します。このような状態になったときには、速やかに電池を交換してください。

注意 電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。

電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。

●時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。

●古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。

●電池の⊕⊖を逆に入れない。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**強制受信**を押してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水で、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からびてくれない。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・製品の廃棄

●お住まいの自治体の指定に従ってください。

●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ *結露しないこと

時間精度 標準電波を受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 分針 目盛りに対して±3度

標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒（常温中のクォーツ精度）

推奨電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 3個

電池寿命 約1年（受信に成功し、7時間/日秒針停止、アラーム：30秒/日、自動点灯：7時間/日 使用時）

アラーム機能 セットした時刻にアラームが鳴る

アラーム音 電子音

アラーム精度 表示時刻に対して0秒

スヌーズ アラーム音が約5分間の一時停止

オートストップ アラーム音が連続5分で自動停止

音量調節 なし

自動照明機能 LED 明暗センサーと連動して暗

所自動点灯

暗所秒針停止 明暗センサーと連動して秒針を12

時位置に停止

電池交換時期 秒針が常時12時位置に停止

お知らせ機能

防滴防塵機能 なし

電波受信機能 電波を受信して時刻を自動修正

受信局 福島県/九州局 自動選択

受信ON/OFF ボタン操作で切替可能

受信結果確認 25時間以内に受信に成功しているときに、スヌーズボタンを押すと受信確認音が鳴る

受信回数 最少 1回/日 最多 6回/日 *受信状態により受信回数は変化

受信開始時刻 2時、3時、4時、12時、13時、14時 各時間帯の16分20秒に受信開始

*2時16分20秒は必ず受信を行う

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る。

●電池に傷をつけない。

●電池を分解しない。

●電池をショートさせない。

●電池を充電しない。

●電池を加熱しない。

●電池を火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない

窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

●目や皮膚に付いたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

注意 危害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる

液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿に

なる所では使わない

さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない

さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない

けがや故障の原因になります。

下記のような場所では使わない

性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。

●暖房機器からの風が当たる所。

●温度が-10℃以下または+50℃以上の所。

●火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。

●強い磁気が発生させる機器のそば。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●プール、温泉場などガスの発生する所。

●調理場など多くの油を使用する所。

●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておく、色移りや付着、変質することがあります。

電波を受信しにくい環境

次のような場所で受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など

電波障害の起きる所

●金属製の雨戸やブラインドの近く

●ビルの地下など

●高圧線、テレビ塔、電車の架線近く

●朝夕の時間帯、雨天のとき

●家電製品やOA機器の近く

●スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせ

てお使いください。受信機能がONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号（型番）をご確認ください。

例. 4MY○○○、4MYA○○○、8MY○○○、8MYA○○○

お客様相談室：0120-557-005 受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してはなんら責任を負いかねますのでご了承ください。